

勉強するだろう。
今日は夕方まで遊んで、
自分をあせらせて、
後は必死にやる。」と、
自分に言い聞かせる。

試合は 優勝。

二年の新しい主将が、ニコニコ顔で、
表彰状を受け取る。

去年の僕らより 今年の方が強い。
それにも訳がある。

「僕ら中学三年の四人が
仲良しで、ずる休みなく、
後輩と一緒に 練習やり、
よく指導して、
後輩の模範だったから。」
と、自分に満足げに、これも、言い聞かせる。

試合中、大声を張り上げてたので、
帰りの電車の中で、少し、喉がいたい。

帰り、本町のおばとこに寄ろうかなあと思ったがやめた。

家に帰ると 幹夫が 父に散髪されている。
あわれ、次ぎは、母につかまり、首すじなど 剃られた。
一種の、実験台の哀れな子猿に見えた。

浪人は考えられない